

序 文

平成 21 年度は「研究所活動計画」の 3 年目となりました。人当研究費の削減が続く中、研究成果の向上と、県民の皆様への還元への推進を目指し、所員一同努力を続けております。

毎年、研究所員は競争的研究資金である文部科学省科学研究費補助金の獲得に努めております。平成 21 年度は、新規に申請した 36 研究のうち 13 研究が採択されました。採択率 36% は全国平均を大きく上回っており、研究所で進められている研究が評価されている事がうかがわれます。

県民の皆様は研究所を知っていただくために、コロニーサイエンス教室（平成 21 年 10 月 4 日「ひとのからだの不思議」）、公開シンポジウム 2009（平成 21 年 12 月 18 日「自閉症・発達障害の基礎と臨床」）、県民講座（平成 22 年 2 月 6 日「地域で暮らすために～子の自立・親の自立～」）を開催しました。平成 21 年度の各学部の研究成果、業績は年報の部門別研究の項に記載しております。関係諸機関、研究者の皆様の御参考になる事を、また御指導、御批判いただける事を願っております。

昨年度に引き続き平成 22 年度も、細川が病理学部長を、若松副所長が遺伝学部長を、鈴木機能発達学部長が教育福祉学部長を兼任します。

最後に年報第 38 号の発刊にあたり、研究所員各位、特に記録広報委員各位の努力に感謝します。

平成 22 年 4 月

愛知県心身障害者コロニー
発達障害研究所長
細 川 昌 則